

秋冬にこそ楽しみを

はんの木だより

2020年1月
第76号

社会福祉法人美土里会
青森県上北郡七戸町寒水 70-17
電話 0176(62)2761
<http://midorikai-gr.or.jp>

季節行事・小学生訪問和やかに



特別養護老人ホーム美土里荘

城南小学校児童来荘

十一月二十日、城南小学校六年生の皆様が来荘され、合唱や太鼓の演奏を披露して下さいました。迫力のある音にご利用者の皆様は感激、特に秋祭りの曲

になると感動のあまり涙を流す方もいらっしゃいました。

さらにその後、ご利用者といれあいました。各班に分かれ、児童の皆さんと一緒にトランプやお手玉、クイズを楽しみました。皆様非常に喜ばれ、キラキラとした笑顔が見られました。

最後には児童の皆さんから手作りメダルのプレゼント。一つずつ手渡されたメダルや折り紙は、今も大事に飾っています。

お別れの挨拶の時には寂しい表情を見せる方も…。また来年も来て下さることを願っています。本当にありがとうございました。

長寿のお祝い

十一月二十六日、特養入所者の町屋さた様がめでたく百歳を迎えられました。ご家族の皆さまにもお越しいただき、お祝いする会を十一月二十七日に行いました。総合施設長がお祝いの言葉を伝えるとともに表彰状・記念品を贈呈。町屋様もびっくりした様子で手を合



わせていました。その後は職員のアトラクションで大いに盛り上がり、皆で会食を行いました。しつかり者の町屋様、これからも長生きしていただきたいと思ひます。百歳おめでとうございます。

供養会

十二月十一日、今年度美土里会のご利用者でお亡くなりになった皆様を偲び、青岩寺の青山晃淳住職にご供養いただきました。

特に施設サービスでは、異なった生き方をされてきた方々が縁あって生活を共にされています。一緒に笑い、時々言い争うこともありましたが、価値観や人生観の違いもあり、一緒に暮らすことは大変だったと思います。本人はもちろん、ご家族、そして支える方々も…。そのため、色々な思いがこみ上げたのでしよう。ご利用者にも職員にも、涙を浮かべる方がいらっしゃいました。職員一同、ご冥福を祈ります。

餅つき・まゆ玉作り

十二月十七日、餅つきをしました。ご利用者にも協力いただきながら、臼・杵でぺったんぺったん。皆さんニコニコしながら眺めたり、「よいしょお」とかけ声をあげていました。その後は水木に色とりどりの餅をくっつけてまゆ玉づくり。真剣に、時には笑い声も上げながら、次々に作り上げて行きました。



デイサービスセンター様

新年が明け、ご利用者に今年一年の抱負や頑張りたいことなどを題材に、書初めをしていただきました。普段筆で書くことが少ないご利用者も、悪戦苦闘しながらお手本を見て書いていました。書くことに楽しみをもってもらえたなあと実感した日でした。

日曜レクリエーション

皆さんが楽しめるのは特別な行事だけではありません。毎週日曜日、参加者を募って体操や簡単な運動などのレクリエーション活動を行っています。十月には敷地内で色づいた柿を収穫したほか、正月明けには書き初めを行いました。



「手に餅が付いて取れない」と悪戦苦闘したり、中にはこっそり食べてしまう方も…(笑)。職員に餅を催促する方もいらっしゃいました。皆様で作ったまゆ玉は正面玄関・本館のホールに飾って楽しみました。



職員紹介

美土里荘職員の紹介コーナー、今回は特養に勤めるベテラン二名をご紹介します！

- ①勤務年数 ②星座 ③血液型 ④好きな食べ物 ⑤嫌いな食べ物 ⑥自分を動物に例えるなら ⑦その理由は？ ⑧なぜ美土里荘に就職したのですか ⑨美土里荘の第一印象 ⑩これからの抱負

川村里美さん 特養介護職員

- ①十年目 ②おとめ座 ③O型

- ④パスタ ⑤チーズ ⑥犬

- ⑦あまり人見知りせず、マイペースだから

- ⑧祖母がお世話になり、とても元氣になったので、ここで働きたいと思いました。 ⑨元氣で優しい職員とご利用者だと思いました。

- ⑩これまでの経験を活かし、新しい知識を得ながら、他職員とご利用者と毎日楽しく仕事をしていきたいと思っています。いたらない点多々ありますが、これからもご指導の程お願いいたします。



田中洋子さん 特養介護職員

- ②二十六年目 ②おひつじ座 ③A型

- ③寿司 ⑤脂っこいもの ⑥キリン

- ⑦背が高いから ⑧私がおじいちゃん、おばあちゃん子でそういう方々のお世話が出来たらいいなと思ったからです。

- ⑨園長自ら、職員と一緒に仕事をされるすごい施設！毎日一人一人に挨拶をして下さり感動しました。

- ⑩すべてにおいて疲勞骨折しないように楽しく仕事に励みます。



特養の主力中の主力のお二人、これからも介護現場の中心となって活躍して欲しいと思います。

認知症研修会で発表



十一月二十二日、特養の赤沼主任と熊谷介護職員が日本老年行動科学会青森支部主催の『認知症ケースワーク研修会』に参加し、事例発表を行いました。当日は県内各地の介護関係者が集まり、発表事例をもとに支援方法についてグループワークを行いました。美土里荘は「居室移動により引きこもり状態となった利用者への支援」という内容で発表。会場からはご本人の気持ちの推察や、適切と思われる対応方法について参考になる意見が非常にたくさんいただきました。それらをもとに、ご本人が安心して美土里荘で生活できる支援方法を考えて行きたいと思っています。

グループホーム様



一月五日、七戸神明宮へ初詣に出掛けてきました入居者全員そろっての参拝は出来ませんでした。行けない方の分までお参りされていました。今年も皆さんで、楽しく過ごしていきましょうね。

グループホームでは、できるだけ自宅で過ごしていた時のように活動していただけるよう支援しています。この日は裁縫を行いました。針を手にするとあつという間に終えてしまう姿は：昔取った何とやら。流石です！勉強になります。



新型コロナウイルスについて知ろう

中国の武漢市において、新型のコロナウイルスによる肺炎患者が相次いで報告されています。このコロナウイルスとは、どんな感染症なのか基本的なところをお話します。



主な症状は発熱であり、呼吸困難を訴える患者もいます。実際亡くなられた方もいるので、感染すれば死亡するリスクがあります。現在、コロナウイルスに対する特効薬はなく、いわゆる対症療法と言って、解熱剤などで症状を緩和し、必要に応じて呼吸や循環を支える治療を行いながら、自らの免疫による回復を待つこととなります。

では、どのような経路で感染するのでしょうか？これまで確定している患者さんについてはその接触者である千人近くを各国で徹底して追跡していますが、感染が確認されたのは濃厚な接触があった家族に限られています。つまり同居して看病するなど濃厚な接触があった方々です。このことから空気感染するほどの感染力はなく、極めて限定的な飛沫感染と接触感染によるものと推測されます。ですから、**石鹸と流水による手洗いもしくはアルコールによる手指消毒が有効で、症状のある人がマスクを着用することも大切な心がけでしょう。**

現地点で私たちにとっては、今回の新型コロナウイルスより、インフルエンザの方がリアルな問題です。発熱や咳などの症状がある人は仕事を休み、周囲にうつさないように注意してください。こうした心がけが、ひいては新しい感染症に対する防御を高めていくものだと思います。

(一月末日現在の情報です)

やります！

地域貢献活動

二校で職業講話行う

十月二十四日、盛田施設統括監がいらせ町立木ノ下小学校で職業講話の講師を務めました。この日は五年生約百人を対象に介護・福祉について講演。さまざまな病気やケガで「今までの生活が送れなくなった人」が介護の対象で、そこでは思いやりの心が必要だということを話して来ました。児童の皆さんは時には明るく時には真剣に話を聞いてくれました。車イス体験では「何も言われないで動かされると怖い」と素直な意見も。私たちも利用者視点を忘れてはいけないと気づかされました。



十一月八日、七戸町立七戸中学校で職業講話を行いました。この日は特養の中嶋副主任が講師を務め、中学一年生に介護の基本的な考え方について講義。どんな仕事をしているのか、どういった気持ちが必要なのかを丁寧に説明し、生徒の皆さんは真剣に耳を傾けてくれました。将来の事を考える始める時期に少しでも参考になれば嬉しいです。

美土里会の四季の食材

冬は美土里荘の敷地内に食材が少なくネタに困ります。という訳で、今回は番外編。七戸町の猟友会に加入している職員がいる縁で、七戸町内で獲れたシカ肉を頂きました。どうやって食べようか悩んでいたところ、町内のシェフがサラミにしてくれました！しっかりと肉の味とピスタチオで食感、フォアグラでコクが足されていて大満足の一品となりました。ちなみに敷地内にニホンジカが出たこともあるんですよ！

番外編！

シカ肉



編集後記

明けましておめでとうございます。今年は暖冬でこの時期に雪がないのが信じられません。さて年越しそばは食べられましたでしょうか？そばは他の麺類よりも切れやすいことから「今年一年の厄を断ち切る」という意味で大晦日の晩に食べられるようになったそうです。皆さんも去年の厄を断ち切り、充実した年を過ごせますようお祈りします。今年も美土里会を宜しくお願いいたします。(竹)